

# みどり



公益財団法人  
かながわトラストみどり財団

”森は海の恋人“ 小網代の森と海の教室  
これからのトラスト緑地のあり方



1985年に発足以来、神奈川のみどりの保全と創造に関する様々な活動を展開しています。1万人を超える会員の支援や募金寄附、ボランティアの皆様の協力を受け、今ある自然環境を次の世代に引き継いでいけるよう取り組んでいます。

☎ 045-412-2525  
✉ midori@ktm.or.jp  
🐦 @kanagawa\_midori  
📘 facebook.com/ktm.or.jp  
📷 kanagawa\_trust

## CONTENTS

もくじ

### 自然へ一歩

#### 小網代の森のノウサギ

NPO法人 小網代野外活動調整会議  
江良 弘光

1

#### “森は海の恋人”前編

NPO法人 森は海の恋人 理事長  
畠山 重篤

2

### 一里塚・四方山話 ⑪

#### 冬に出会える小さな自然観察の先生 ジョウビタキ

神奈川県森林インストラクター  
赤崎さほり

#### 平成30年度

#### 事業報告及び決算報告

7

#### これからのトラスト緑地のあり方

#### 保全対象緑地の選定基準の見直しから

保全緑地等選定委員会 委員長  
小林 重敬

8

#### 令和元年度

#### 緑化運動・育樹運動コンクール

12

#### かなユリ報告会・

#### 「美しい日本のユリ・ヤマユリ」(前編)

#### 財団主催イベント

#### 森林ボランティア

#### 県民参加の森林づくり活動

14

### 事務局だより

#### 新たな優待施設紹介

「野菜のHikarie」

#### サポーター会員募集中

16

### 会員の皆さまへ

※転居先不明で返送されるケースが増えていきます。  
住所などの変更がありましたらご連絡ください。

※機関誌「ミドリ」は財団公式WEBサイト  
(http://ktm.or.jp)で読むことができます。  
個別の発送停止をご希望の方は財団事務局まで  
ご連絡ください。

### 表紙の写真



#### 高橋梨子氏(2019ミス日本「海の日」)小網代の森干潟

10/26(土)開催した講演会当日に、司会と鼎談に登壇する高橋さんを小網代の森へお連れしました。  
表紙は干潟でカニを見つけた時の写真です。

[記事▶P2へ](#)

## 会員数 & 寄附募金のお知らせ

### トラスト会員を募集しています。 会員の皆さまからご紹介ください! 現在の会員数

(2019年11月末現在)

|         | 普通会員    | 緑地保全<br>支援会員 |
|---------|---------|--------------|
| 個人会員    | 3,657人  | 395人         |
| 家族会員    | 6,306人  | 691人         |
| 法人・団体会員 | 268人    | 25人          |
| 特別・名誉会員 | 315人    |              |
| 計       | 10,546人 | 1,111人       |

### 遺贈による寄附について

近年、遺言による寄附について関心が高まり、これまでに遺贈を受けた公益事業を開始しております。遺言の財産受取人として、公益財団法人かながわトラストみどり財団をご指定いただけます。

### 相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10ヶ月)までに寄附された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

### かながわトラストみどり基金への寄附状況

寄附累計額(2019年9月末現在)

14億2,613万1,586円

寄附者名(2019年7月~9月)(敬称略)

イオンリテール株式会社南関東カンパニー、株式会社タズミ、福島孝、藤崎英輔、山本勝久

### トラスト募金

募金者名(2019年7月~9月)(敬称略)

地方職員共済組合神奈川県支部、小網代インフォメーションスペース、桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト、横浜銀行、(公財)神奈川県公園協会 大磯城山公園

### 「かながわトラストみどり財団」への寄附

財団へ寄附をいただきましたのでご紹介します。誠にありがとうございました。

寄附者名(2019年7月~9月)(敬称略)

間 敏幸、浅野 由美子、安齋 房枝、池谷 善博、井出 美美子、岩田 由美、大石 勝義、奥地 結子、久保 幸子、熊沢 正勝、児玉 英二、小峯 正、齋藤 友佳理、佐々木 清子、佐藤 俱規、佐藤 三郎、佐野 育子、柴崎 えつ子、清水 紀彦、菅野 実、杉山 夏樹、洲崎 一雄、鈴木 和男、鈴木 宏、高橋 敏雄、高橋 賢、竹内 美穂、堤 孝子、津戸 芳子、天井 悦子、内藤 誠一、中島 和博、中島 啓雅、新村 一郎、沼沢 要二、静江、野村 昌夫、長谷川 喜美江、濱尾 光吉、早川 武、樋口 真弘、福井 まな、藤井 和夫、古川 仁朗、松田 江利子、圓尾 長子、丸山 和弘、山本 勝久、山本 八千代、渡部 明、NPO 法人神奈川育林隊 清算人 山口耕二、アサヒ飲料販売株式会社、サンクガーレン有限公司、日産プリンス神奈川販売労組 執行委員長 橋本 裕介、匿名希望18名

※掲載の承諾をいただいた皆さまをご紹介させていただいております。



木道ができる以前、  
ノウサギとのニアミスはよくあり、  
こんな風にあわてて逃げる姿を  
よく見ました。



絵と文：  
NPO法人  
小網代野外活動調整会議  
えら ひろあき  
江良 弘光

## 小網代の森の ノウサギ



会うことが多いのは  
まだ警戒心の薄い幼獣で、  
初夏のころなどに  
ひっそり会ったりします。



成獣には夜、  
放仔観察会の帰りなどに  
会ったりします。

小網代の森にもノウサギが暮らしています。でも、目にする機会には多くはありません。ノウサギは夜行性で、警戒心も強いので、なかなか出会えないのです。小網代の森は夜間入れないのですが、ホタルやカニの放仔観察会などで特別に夜に立ち入る機会があるときなどに、立派な成獣に会ったりします。

こんな風になかなか出会えないノウサギですが、例外的に警戒心の薄い時期があります。それは生後間もない幼獣の時期です。時期は初夏のころが多く、早朝などに道の真ん中で逃げもしないで、ぼーっとしたりすることがあります。まだ耳の短い頃の子ウサギは本当にかわいい生きものです。

ノウサギの成長は驚くほど早く、こんな時期は一瞬しかありません。もし出会うことがあったら驚かさず、そっと見守ってあげてくださいね。

# “森は海の恋人”

## 人の心に木を植えるには 前編

NPO法人森は海の恋人 理事長 はたけ やま しげ あつ 畠山 重篤

“森は海の恋人”という名フレーズで知られる畠山重篤さんは宮城県気仙沼の牡蠣養殖家として、長年にわたり樹木等の森林保全に携わられてきました。

海の環境を守るには海に注ぐ川、そして流域の森を守ることが重要だと気づき、1989年から漁師の仲間たちと活動を始めたそうです。

今回、小網代の森インフォメーションスペース横の三浦市民交流センターにお招きして、活動経緯や内容について講演をいただきました。



みなさんこんにちは畠山と申します。

三陸リアス式海岸、宮城県と岩手県の県境にある気仙沼湾からやってきました。

本業ではカキの養殖をやっておりまして、親父の代から始めたので2代目になります。水産高校を出て、18歳のときからずっと海で仕事をしています。

今、3代目の息子が3人いて、子や孫も含めると家族総勢10人。最近、小学生になった孫が4代目を継ぐと言ってくれています。

良いカキを作るには、海ばかり見ていてはダメで、川上である水源地の森が重要です。その森を守り続けて31年目。これが「森は海の恋人運動」です。

カキの養殖は他の養殖業と違ってエサがいりません。魚の養殖だと日に2回のエサやりが必要ですが、カキは海で養殖棚に吊るしておく、勝手に海にいる植物プランクトンを食べて大きくなります。良い商売なのです。小学校の環境学習でそのことを話したら、農家の子どもに「ずるい」って言われました。グサッときましたね(笑)。

しかし、1960～70年代あたりで様々な影響が絡み合って海の環境が悪化し、海藻や魚も獲れなくなり、多くの仲間が陸に上がりました。赤潮も発生したりして、カキ養殖業も苦境の時代でした。この時はカキの養殖を続けていくために日本や世界各地を視察して模索していました。



講演会

## 小網代の森と海の教室

2019年10月26日(土) 13:30~16:30

場所 三浦市民交流センター  
(神奈川県三浦市初声町下宮田5-16)

共催 一般社団法人日本海洋アカデミー、  
公益財団法人かながわトラストみどり財団

牡蠣棚の浮かぶ舞根湾

## カキのよさ

三陸リアス式の海岸ですが、実は天然で世界一カキの種がとれる場所です。あの「柿の種」じゃないですよ(笑)。



カキは7~8月に海に放卵、放精を行い、体外受精によって子どもができます。だいたい2~3週間くらい幼生生活を経て、好条件の場所が見つかると、固まる物質を出して引っ付きます。

そこにホタテの貝殻に穴をあけまして、70枚くらいを1連として、これを海にぶら下げてやるわけです。すると同じカルシウム殻だということで固着してくれます。

それを宮城の種カキとして全国各地に販売するわけです。一大生産地の広島では、半分以上が宮城の種だったりします。

カキは沖縄から北海道、中国大陸沿岸でも生息しており、水温の高低差は問題なく生息域が広い生きものです。

この種カキが100年前にニューヨークに渡りまして、今でもオイスターバーも賑わっている。

実は18世紀の中頃まで、ニューヨークは世界一のカキの生産地だったんですね。今では大都会で高層ビルが立ち並んでいますが、それまではハドソン川などの河口であり、自然環境が豊かで生物の宝庫だったので、カキにとっても楽園だったんですね。だから、アメリカ建国後はカキの養殖が盛んに行われてきたわけです。

今では自然の楽園も摩天楼に変わりましたが、有名でうまいカキを食べさせるオイスターバーが残って、流行っているんですね。大リーグのイチローもどっさりカキを食って、長く活躍できていたのかもしれない。

カキは栄養価が高い食べ物で、なかでもグリコゲンが豊富に入っています。私たちのエネルギーの素となってくれ、あのグリコの名前の起源にもなっています。このほか、ビタミン類やミネラルなど、体にとって必要不可欠な栄養をとることができます。

息子たちには忙しい時期に海から陸に上がるのだから、宣伝の一つぐらいしておかないといけないわけです(笑)。以上カキの宣伝でした。

## 海を豊かにする広葉樹林

先ほど、種カキの話を出しましたが、その種を配りに全国各地を廻るのですが、生産量日本一の広島にも太田川という一級河川があって、中国山地を縦断し、島根県堺付近をカーブして源流から延長100キロを超えて広島湾に注いでおり、流域には1,000m越えの山々が連なり、やっぱりブナ林などの広葉樹林があるのです。

実は海を豊かにしていたのは広葉樹林など森で、落葉し堆積して時間をかけてできた腐植土の層なのです。そこに雨が降り、森で培われる豊かなミネラルなどの成分が川から海に流れこみ、海の生きものを育てていたのです。

三陸沖といえば、寒流の親潮と暖流の黒潮がぶつかる潮目があり、豊かな漁場といわれています



大漁旗はためく植樹祭



ミズナラやブナなどの苗木を植える

が、理由はそれだけではありません。東北の山々から流れこむ流域の自然環境が大事なんです。

その川からやってくるもので、「キートセロス」という珪藻類で棘がついた植物プランクトンがいます。川から流れる水を淡水といいますが、海水と混ざる河口付近を汽水域といい、ここでカキの養殖が行われます。川からやってきたキートセロスがカキのエサとなるわけで、ここに牡蠣棚を設置するわけです。

私たちが海の仲間と植林活動を始めたのは1989年からです。気仙沼湾に注ぐ大川の源流の一つ、お隣の岩手県室根山のササだらけになった場所に、ミズナラやブナなどの苗を植え始めました。植樹祭のときは大漁旗をはためかせて植えるのです。

## 東京湾も豊かな海

東京湾も豊かな漁場だったのでしょうか。縄文時代にカキがいっぱい獲れていたことがわかる貝塚が残っています。代表的なのが東京都北区、山手線「田端」駅の北部にある中里貝塚です。縄文時代の「水産加工場」とか言われて、全長1キロという日本最大級の貝塚です。

縄文時代中期、約4,600年前から500年間にわたって使われた場所で、その頃は縄文海進といって、貝塚周辺は海だったわけです。

ここで、たくさんのカキを獲って交易をしていたようです。近くの北区飛鳥山博物館に遺構が展示されています。

江戸時代の改修工事前は、利根川も東京湾に流れてこんで、大小様々な流域が湾内に流れ込み、江戸前の寿司のネタがよく獲れたわけです。赤貝やシャコがいっぱいとれたのも、上流には武蔵野の雑木林があり、植物プランクトンが生まれ、それを動物プランクトンが食べて、それを小魚が食べて、大きな魚がやってくるという食物連鎖ができています。川からやってくる植物プランクトンが良い寿司ネタを呼んでいたわけです。

日本の国土をみると、山だらけで細長い日本列島には一級河川だけでも1万以上、その他

二級河川以下の小さなものまで含めると約3万5千もの河川が流れ出ています。この網の目のように張り巡らされた川の流れによって日本は汽水域で覆われていることがわかります。この山からの恵みによって豊かな海が育まれているわけです。

## 人の心に木を植える

小網代の森はずっと行きたい場所でした。この春、岸先生(NPO法人小網代野外活動調整会議 代表理事)と一緒に歩くことができました。森は何らかの目的で部分的に手入れすることは容易ですが、森川海といった流域全体を手掛けるところはかなり難しいというのが実感ですね。しかも、小網代の森は首都圏近郊でありながら流域全体が守られていることは奇跡とっていい。

気仙沼湾に注ぐ大川流域は大部分が山地で、河口付近とその周辺部に10万人弱が住んでいます。気仙沼湾のリアス式海岸は外波も入らず天然の良港で、カキやワカメなどの養殖が盛んですが、流域では人の生活が営まれていますから、住んでいる人と



価値観を共有しなければ保全の道筋は立ちません。

山に木を植え続けていますが、一番の重要なのは流域に住む人々と一緒に価値観を共有していかないといけないというわけです。

人々の心にどうやって木を植えていくか。どのように意識を変えていくかと感じたわけです。それはやっぱり教育しかない。これまで森は海の恋人運動は色んな評価をいただいています、その理由はやっぱり人の心に木を植えること地道に続けてきたからだと思います。



子どもキャンプでの青空講話



牡蠣養殖筏観察

毎年、五百人から千人が集う室根山や矢越山での植樹祭や、小学生から大学生まで受け入れた自然体験学習など、これまで総勢1万人を超える方々に森と海が繋がっていることを伝える活動を行ってきました。そこに生活する人々の意識を高めることが大事なわけです。

小網代の森でもそうだと思いますが、環境教育は実際に足を運び、自分の目で自然景観を見せる仕組みを作ることが大事です。

これまで全国各地で森の保全活動を巡ってきましたが、やはり自然相手に本気で活動している人たちは、伝え方に強い説得力があるように感じています。経験に裏打ちされた活動家の思いがよく伝わります。



間伐作業により樹冠が開けた明るい林内を観察

（ 後編は次号、“森は海の恋人”キャッチフレーズ  
誕生と震災を乗り越えて ）



写真左から畠山さん、高橋さん、岸さん

## 講演会内容

畠山さんの講演後、NPO法人小網代野外活動調整会議代表理事の岸由二さんも登壇いただき、司会を務めていただいた高橋梨子さんが聞き役となって、3人による鼎談を行いました。

また、今号の表紙も高橋さんに爽やかに飾っていただきました。



プロフィール

はたけ やま しげ あつ  
**畠山 重篤**

NPO法人森は海の恋人代表理事、京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授、著書に「日本(汽水)紀行」(日本エッセイスト・クラブ賞受賞)、「カキじいさんとしげぼう」(講談社)など



## 冬に出会える小さな自然観察の先生

### ジョウビタキ

神奈川県森林インストラクター 赤崎さほり

冬が近づき、樹々が赤や黄色に彩り始めるころ、公園や里山から、「ヒッヒッ…カッカ…」と少し寂しいような声が聞こえてきます。これは、ジョウビタキの鳴き声です。ジョウビタキは人間に対して比較的警戒心が薄いため、出会いやすい冬の渡り鳥で、図鑑で調べてみようと思うきっかけを与えてくれます。私も愛らしいオレンジの紋付袴をはいたようなジョウビタキに誘われ、図鑑を購入しその名前を知るようになりました。

ところで、この色鮮やかな模様を持つのはオスだけで、メスは天敵にみつからないように淡褐色に白い模様を羽に持ちます。それを知らなかった私は、また別の野鳥を見つけると大喜びして図鑑に名前を探すも、見当たらず、困り果てて鳥に詳しい知人に相談したところ、メスであることを教えてもらい、恥をかいてしまいましたが、これをきっかけに、雌雄で異なる柄を持つ野鳥が多いことを知ることとなりました。

さて図鑑を開くと野鳥の種類が多いことに気が付きますが、実際にフィールドに出かけると、野鳥をこの目で探し出すのはとても難しいことを実感します。野鳥を見つける観察眼を持つことは「鳥の気持ちになって見る」ということだと私は考えています。あらためて自然を見てみますと、何を食べているのだろうか、敵が来たらどこへ隠れるのだろうか、どの枝で休憩しているのか…。野鳥の生態に寄り添うと、徐々に遭遇率が上がります。特に、食事に関しては大切な情報です。魚を食べる鳥は水辺に、木の実が好きな鳥はその樹種がある森に、虫が好きな鳥は虫がよく活動する時間に出会いやすくなるのです。

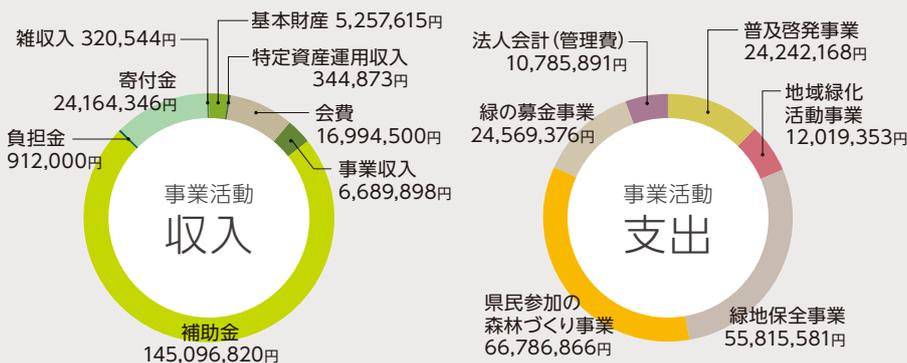
そうすると、今度は魚の生態や、実のなる植物、昆虫のことを知りたくなり、あっという間に、野鳥以外の図鑑もたくさん所持することとなったのです。

## 平成30年度 事業報告及び決算報告

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、寄附金、募金や会員の獲得による資金調達の強化など、県民、企業、団体及び行政との協働を基本方針として各事業に取り組みました。

|              |  |
|--------------|--|
| 普及啓発事業       | WEBサイトのリニューアルに向けた取り組むほか、機関誌「ミドリ」による情報発信や様々な自然観察会を通じて、「かながわのナショナル・トラスト運動」の普及啓発を行いました。                   |
| 地域緑化活動事業     | 新たに地域緑化推進委員会を設置、地域で活躍する市民団体を支援する「みどりの実践団体」の育成に努めました。また、「かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポット」の募集・選考に取り組みました。 |
| 緑地保全事業       | 緑地所有者との緑地保存契約の継続や拡大、県内各市町村が行う緑地等指定事業への助成、緑地の維持管理及びトラスト緑地で自然再生等の活動を行っているボランティア団体を支援しました。                |
| 県民参加の森林づくり事業 | 森林ボランティア活動の推進、森林インストラクターの養成及び成長の森の造成を行い、県民の森林づくりへの参加促進に努めました。  |
| 緑の募金事業       | 教育機関、市町村等と連携して緑の募金運動を推進し、森林保全活動や緑化運動・育樹運動コンクール等の実施、学校や団体の行う緑化活動や緑の少年団の活動への支援を行いました。                    |

## 平成30年度 決算報告 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)



|        |            |
|--------|------------|
| 事業活動収入 | 1億9,978万円  |
| 事業活動支出 | 1億9,421万円  |
| 収支差額   | 5,561,361円 |

収支差額5,561,361円であり、その大半は当年度に受けた大口寄附等の収入であり、今後特定資産として計画的に取崩し、公益事業の財源として管理及び使用していきます。

# これからのトラスト緑地のあり方

## 保全対象緑地の選定基準の見直しから

保全緑地等選定委員会 委員長 こばやし しげ のり  
小林 重敬

### はじめに

保全緑地等選定委員会とは、財団設立以来30年以上続く委員会であり、「かながわのナショナル・トラスト運動」の根幹となる調査審議機関です。これにより神奈川県と共に自然環境や歴史的環境の保全を図り、みどり豊かなかながわの創造に貢献することを目的としています。

委員会では保全すべき緑地等の選定基準を設けておりますが、昭和61年の策定以来、改定することなく対象地の調査・審議を行ってきました。しかし、策定当時から社会的状況が大きく変化しており、都市近郊の緑地を取り巻く課題や必要とされるみどりの価値において、選定基準による評価との乖離が生じてきました。そのため、今現在そしてこれからの世代が求める自然環境や歴史的環境を救えているのか再考し、新たなトラスト緑地のあり方を求めて、緑地を適切に評価することができるように1年以上かけて選定基準の見直しを行ったものです。

### これまで買入れによって 使った基金費用

買入れた緑地の  
維持管理費

6.0億円

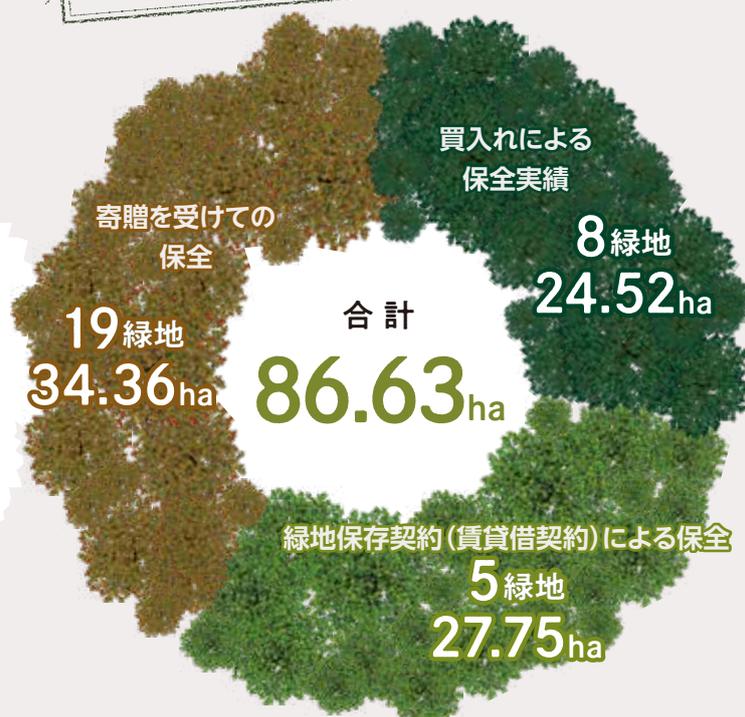
緑地の買入れ費

49.9億円

合計

55.9億円

### 3つの保全方法による実績



(平成31年3月31日現在)



### 泉の森緑地 (大和市)

引地川の源流である大和水源地を中心に、約42ヘクタールの面積を持つ市内最大の緑地です。

買入れや保存契約による緑地保全が行われ、活動拠点である市施設の「自然観察センター・しらかしのいえ」があります。

## 選定委員会とは

選定基準の見直しについては、後でご紹介することとし、まずは保全緑地等選定委員会について説明します。

この委員会は、主にこれから保全すべき緑地や歴史的遺産等の選定、緑地の保全に関して調査・審議しています。具体的には、神奈川県に設置する「かながわトラストみどり基金」によって緑地等を買入れすべきかを県へ提言するほか、財団が行う地権者との保存契約緑地についても選定しています。

選定する対象は、樹林地、景勝地、水辺及び野生動物生息地、そして緑地のある歴史的建造物やその周辺部とされます。

平成3年の東林ふれあいの森緑地以来、川名緑地、小網代の森緑地、鎌倉広町緑地など、開発の危険が生じた緑地の一部を先行的に買入れし、その他の部分を保存契約して間をつなぎ、その後法令による保全に至るような手続きを進めて、今現在保全されている28ヶ所、約87haがトラスト緑地として県や市町、財団によって維持管理されています。



### 東林ふれあいの森緑地 (相模原市)

小田急江ノ島線沿いに位置し、中央林間自然の森(大和市)と隣接する大規模で貴重な緑地です。市街地に囲まれながら「かながわの探鳥地50選」に選定されています。

## 選定基準の変更点

県による国土交通省による都市計画基礎調査によると、県内各地の市街化区域において、戦後から高度経済成長を経て、大幅に樹林地の減少が続いてきました。近年はその減少幅が小さくなる一方、市街化調整区域では未だに減少が続き、樹林地の開発が行われています。また都市部の大規模緑地については、都市公園や地域制緑地、保安林などの法律によって保全の網がかけられているものの、それ以外の小さな緑地が点在し、断続的に開発されていく恐れがあります。



### 小網代の森緑地 (三浦市)

三浦半島の先端にあり、相模湾に面した約70haの森です。森林、湿地、干潟及び海までが連続して残されている、関東地方で唯一の自然環境と言われています。



### 山崎・台峯緑地 (鎌倉市)

北鎌倉駅から鎌倉中央公園方面に広がる緑地帯の一部が山崎・台峯緑地です。平成22-24年度にかけて、神奈川県と鎌倉市による買入が実現し、緑地の一部、5,200㎡を保全の対象とすることができました。神奈川県による買入は「かながわトラストみどり基金」を財源として行われています。

## 面積要件の見直し

そこで、これまで選定基準に1ha以上のまとまった緑地であることが保全の条件でしたが、都市近郊にある大規模緑地帯はほぼ保全され、それに対して1ha未満の小規模開発が多く発生していること。また、一概に面積要件によって選り分けることの妥当性が問われ、見直しを行いました。

その結果、面積要件は残しつつ、谷戸など凸凹した流域のまとまりを重要視し、団地の規模が概ね3,000㎡以上(ただし、周辺の緑地と一体となつて、生態系ネットワークを形成している緑地については、概ね1,000㎡以上)の緑地等としました。

県東部の都市域の緑地が典型ですが、既に住宅地になったとしてもパッチ状に小規模な緑地が点在し、その間を動物が行き来するなど生態系ネットワークが形成されていることがあります。

このような場合、周辺部で点在する緑地をつなぎとめ、そのネットワークが消失しないような取り組みが必要です。

## 自然資源保全機能

緑地等評価基準においては、自然資源保全機能における地形的要素を重要とし、動植物が生息するための基盤となる尾根、谷、草地など、ひとまとまりの多様な環境が流域単位で残されていること、すでに分断されている場合は他の緑地と補い合い生態系ネットワークを構築していることを評価の対象としました。

また植生的要素の状況について、極相林(遷移の最終段階に達した森林)などの自然植生のみを評価しておりましたが、生息する植物の多様さや地域の固有性についても評価することとしました。

例えば、萱場や防砂林として機能する松林や海岸草原等、その地域を代表する植生であることも評価の対象となります。

また、植生の希少性もちろん重要ですが、地元で基礎的な植物の多様さも評価されます。一般的には普通種であるが群落を形成することで、そこに息づく動物の豊富さ、多様さに結びつくこともあるためです。

このほか、希少種の生息・生育状況については、30年前にはまとめられていなかった国・県が作成したレッドデータブックも反映することとしました。



### 大磯こゆるぎ緑地 (大磯町)





### 葛葉緑地 (秦野市)

秦野市曾谷、東田原、西田原にまたがる葛葉川沿いにある緑地です。昭和62年にかながわのナショナル・トラスト運動による第1号緑地として指定されました。市民が身近に自然とふれあえる施設「くずはの家」や散策路が設置されています。



### 鎌倉広町緑地 (鎌倉市)

鎌倉市の市街化区域に大きくまとまって残された特異な緑地です。かつて宅地の開発計画が持ち上がり、地域住民の保全運動も起こり、都市緑地として保全されています。

## 歴史的環境保全機能

歴史的環境とは、古い町並みなどを代表とするような社会的・文化的な建造物やその周辺部の環境のことで、これまで他の項目と同様の評価要素と一律に評価していました。歴史的環境の有無で評価がマイナスの判断になる場合もありうるため見直しを行い、加点のみを与えることとしました。

## 新たに評価される県民運動機能

新たな項目として、保全に向けた県民による組織的な維持管理や保全に向けた運動について評価の対象としました。市町村行政にとどまらず、住民の自発的な保全活動の取り組みがなされていることを評価するもので、市民参加による「かながわのナショナル・トラスト運動」らしさといえるかもしれません。

県内の都市近郊の緑地の隣接には田畑や住宅地など人の生活と密接に関係しているため、緑地が確保された場合は、隣接地に迷惑をかけない維持管理が継続して必要になります。一方、それだけ人との関係性が近い緑地であるため、市民参加による維持管理や活用の機会も多くあります。既に行政機関が取得した緑地で必要最低限の管理だけを行い、うまくポテンシャルを生かし切れていない場所は多くあります。

トラスト緑地では市民参加による維持管理や観察会などを積極的に実施し、地域のシンボルとなるような緑地保全の歴史があるので、そういったトラスト緑地らしさを望みます。

地域住民の保全への意欲と市町村の熱意を受けた評価といえます。

## これからの緑地保全にむけて

選定基準を規定して30年以上が経過し、都市近郊における自然環境や歴史的環境を取り巻く状況は大きく変化しました。神奈川県内における新たな大規模緑地の保全の必要性は低下しているものの、以前として小規模な緑地が各所に点在している状況です。一方、緑地における価値も谷戸や里山などの景観や生態系ネットワークの評価が高まってきています。

今後も様々な課題に応えられるよう、神奈川県と両輪となって良好な自然環境及び歴史的環境を次の世代に引き継いでいく「かながわのナショナル・トラスト運動」の主要なセクションとして、新たな選定基準のもと保全すべき緑地等の調査審議を行っていきます。

プロフィール

### こばやし しげのり 小林 重敬

公益財団法人かながわトラストみどり財団 保全緑地等選定委員長、  
一般財団法人森記念財団理事長



# 令和元年度 緑化運動・育樹運動コンクール

「緑化運動・育樹運動コンクール」は、緑の募金活動によって行われています。

2019年12月14日(土) 緑化運動・育樹運動コンクール表彰式を開催しました。県内の小中高等学校に募集を呼びかけ、今年度は678点の応募があり70点が入賞しました。

## ポスターコンクール 最優秀賞

### 【小学校の部】



「森の命 バトンタッチ」

横浜市立小机小学校  
3年

高原 菜穂さん

【講評】ぶらぶらぶらぶら…絵の前に立つと、木のおじいさんの話が聞こえてくるような微笑ましい仕上がりに。「あたらしい木をどんどん育てて森をつくる木はしぜんの中で一番大切です」。そんな想いを込めて描かれました。1本のコナラの木には1年間に550粒のどんぐりができるそう。全部のどんぐりが芽を出すすと550本のコナラができることになります。

### 【中学校の部】



「緑いっぱい笑顔いっぱい」

伊勢原市立山王中学校  
1年

関西 銀一郎さん

【講評】画用紙いっぱいに描かれた木の葉に包まれて、笑顔いっぱいの僕がいます。「この世に緑が増えることによって人の笑顔も増えるんだよと言うことを伝えなかった」想いで描かれました。木が繁らせる緑を増やすことによって人は笑顔になり、その笑顔は人をしあわせにする。緑の中に笑顔が生まれる。その想いを率直に表現した作品です。色彩心理で緑は、バランスと安らぎ、癒しと成長をイメージさせる色だとされています。

### 【高校の部】



「人と自然～一体化～」

神奈川県立小田原城北  
工業高校 2年

伊藤 ほのかさん

【講評】緑の大地からのびた力強い2本の腕、そっと開いた両手で双葉の芽をつけた水滴をやさしく受け止めようとしています。「人と植物が支え合えるようになったら良いかと思い描きました」。生命を支える象徴としての手、その力強さと生まれた命を包み込むやさしさの表情が印象的でした。それは自然の中での木の存在だと思えます。私たち人間も自然と一体なんだ、そんな思いが伝わってきます。

## 金賞

### 【小学校の部】

伊勢原市立比々多小学校 3年 宮本 琴未さん  
伊勢原市立大田小学校 2年 大塚 麻由さん

### 【中学校の部】

藤沢市立藤ヶ岡中学校 2年 高際 美貴さん

### 【高校の部】

神奈川県立白山高校 1年 花崎 江里子さん

## 標語コンクール 最優秀賞

### 【小学校の部】

「森林は 命を支える 地球の根」

横浜市立大岡小学校 6年 関口 凜子さん

【講評】「根」という表現は、今までにない考え方であり、地球に根を張るという力強いイメージで迫力が感じられ、緑化を未来につないでいこう、将来の為に残していかなければという、力強いメッセージ性を感じ取れます。

### 【中学校の部】

「未来につなぎ守りたい 緑溢れる生命の星」

茅ヶ崎市立鶴が台中学校 3年 高辻 歩さん

【講評】今の地球が緑あふれる状態ではあるけれども、緑が少なくなって温暖化が進む心配な状況でもあるということも理解している上で、緑が増えて生き生きとした地球をこれから先も残していきたいという気持ちがこの作品から読み取れます。

### 【一般の部】

「次世代へ 引き継ぐ緑を 植えて育て」

平塚市 三浦 利江さん

【講評】「植える」と「育てる」という言葉が、それぞれ単独で表現される作品の中で、植える事と育てる事を一緒に行っていく、子どもを成長させていく親の様に、木や植物も植えるだけではなく育てていく事の大切さを感じ取ることが出来る作品。

## 金賞

### 【小学校の部】

愛川町立高峰小 2年 小野澤 啓太さん  
秦野市立南が丘小 4年 坂本 佳理さん  
小田原市立早川小 5年 大木 照丸さん

### 【中学校の部】

川崎市立犬蔵中 2年 高田 幸采さん  
川崎市立犬蔵中 2年 曾我 菜月さん  
厚木市立依知中 2年 中丸 獅音さん

### 【一般の部】

座間市 清水 隆さん

## ポスターコンクール

### 銀賞

【小学校の部】横浜市立小机小6年 高原明希さん・伊勢原市立大山小5年 関西 凰次朗さん・秦野市立北小3年 木村 玲温さん【中学校の部】大和市立南林間中2年 稲葉 万桜さん・藤沢市立藤ヶ岡中2年 伊藤 瀬七さん【高等学校の部】神奈川県立神奈川工業高校2年 塩野 桃子さん

### 銅賞

【小学校の部】伊勢原市立大山小1年 松並 千沙さん・伊勢原市立大山小3年 金子 碧衣さん・伊勢原市立大田小5年 長谷川 秀虎さん【中学校の部】藤沢市立藤ヶ岡中2年 和田 奈菜子さん・茅ヶ崎市立中島中3年 藤田 麗江さん・鎌倉市立大船中2年 松田 桃香さん【高等学校の部】神奈川県立小田原城北工業高校1年 山口 優香さん

### 佳作

【小学校の部】横浜市立菊名小5年 芦田 康介さん・綾瀬市立北の台小3年 江藤 楓太さん・伊勢原市立大田小3年 太幡 莉実さん【中学校の部】鎌倉市立大船中1年 岩崎 環さん・横浜市立旭中3年 伊藤 春奈さん・川崎市立富士見中2年 細野 美華さん【高等学校の部】神奈川県立神奈川工業高校2年 潮田 弥子さん・神奈川県立神奈川工業高校2年 村岡 美幸さん・神奈川県立白山高校1年 岡崎 スズナさん

## 標語コンクール

### 銀賞

【小学校の部】厚木市立戸室小1年 森田 優菜さん・厚木市立戸室小6年 渡邊 春毅さん・秦野市立堀川小6年 綿引 理乃さん【中学校の部】川崎市立犬蔵中2年 矢野 凌大さん・川崎市立犬蔵中2年 馬込 恋乃さん・二宮町立二宮中2年 村田 優菜さん・厚木市立依知中3年 仲谷 鳳凱さん【一般の部】横浜市 渡邊 昌壽さん

### 銅賞

【小学校の部】厚木市立戸室小1年 大江 朝来愛さん・大和市立林間小2年 菊地 真翔さん・横須賀市立富士見小3年 伊藤 静希さん・大和市立林間小4年 菊地 敬翔さん・伊勢原市立伊勢原小6年 多田 陸人さん【中学校の部】川崎市立平間中1年 加納 由梨さん・川崎市立犬蔵中2年 翠川 一輝さん・二宮町立二宮中2年 松村 大雅さん・二宮町立二宮中2年 菅野 舞捺さん・厚木市立依知中2年 大谷友桜さん【一般の部】鎌倉市 黒子 和夫さん

### 佳作

【小学校の部】厚木市立戸室小1年 平出 小遥さん・厚木市立相川小2年 門倉 心夏さん・綾瀬市立北の台小4年 佐藤 惺歩さん・大和市立林間小6年 金森 悠希さん【中学校の部】川崎市立平間中1年 田中 陽香さん・厚木市立依知中1年 長谷川 眺陽さん・川崎市立犬蔵中2年 西野 千夏さん・川崎市立犬蔵中2年 松林 璃玖さん・川崎市立犬蔵中2年 矢島 詩恩さん・厚木市立依知中3年 川島 輝大さん【高等学校の部】横浜清風高校1年 中村 綾乃さん【一般の部】横須賀市 齋藤 朋子さん

## 緑の募金の使い道を一部紹介します



### 緑の募金による活動 箱根小塚山でのハコネダケ刈り作業

2019 9/21(土)

2012年から続けて会員優待施設でもあるポーラ美術館に隣接するトラスト緑地にて、ハコネダケ刈り作業を行いました。緑地全面に繁茂しているハコネダケを除去し、ブナ・ヒメシャラの植生更新や、林床に光が入ることで、これまで眠っていた下層植生の再生を図っています。



### 緑の募金による活動 緑の少年団交流集会

2019 8/24(土)~25(日)

緑の少年団は子どもたちに緑の大切さを伝えることを目的に様々な体験活動を行う団体です。交流集会では県内の5団体、小学3年～中学1年生の29名と指導者が集い、職場体験や森林学習を通じて団体同士の交流を深めました。相模原緑の少年団の坂本莉菜さん(小6)からは「キャンプを通して普段の生活ではエアコンなどの機械にだいぶ助けられていることを実感しました」と感想をいただきました。



水源涵養(かんよう)機能の実験



製材所見学

# 美しい日本の ユリ・ヤマユリ

前編

全国森林インストラクター神奈川県 広川 一久

日本にはたくさんの種類のユリが自生しており、古くから食用や薬用として利用され、日本人にとって生活に必要な身近な存在でした。日本には16種が自生し、その内8種は日本固有種。日本に自生するユリは野生のままでも非常に美しく、江戸時代末期の1862年(文久2年)に、イギリス人園芸家ヴィーチがイギリスに送ったヤマユリの球根がヨーロッパで初めて開花して、“金色の筋の入った女王”としてその美しさが驚嘆され、欧米で日本産ユリブームが起こる引き金となりました。

## ヤマユリの生態

ヤマユリは日本固有種の内のひとつで、東北地方から近畿地方に分布し、特に関東と東北に多く、草地や林縁、疎林内に自生します。時間をかけて大きくなった鱗茎(球根)は、蓄えられた養分を使うため生長が早く、他の草花の背丈を越えて、6月中旬から7月に直径が20センチ以上の大輪漏斗状の花を横向きに咲かせます。昼に黄色筋の花弁や赤い蜜腺でアゲハチョウを、夜に強い香りでスズメガなどを誘って花粉媒介してもらいます。昼夜24時間営業の働き者なのです。

生育する場所により葉の付き方(葉序)が様々で、



ヤマユリ二列互生(四季の森公園)

ヤマユリ

茎を取り巻いて螺旋状に葉が付く場合と、二列方向の平面状に葉が付く場合があります。二列互生といいます。雑木林の斜面で、自重に耐えられず茎が斜めになると二列互生になり易く、横たわるような姿で咲く二列互生のヤマユリをご覧になった方も多いと思います。これは、より多くの葉に太陽光が当たるように、葉の付き方を変化させたヤマユリの知恵。昼夜24時間営業や葉の付き方を変えるなど、ヤマユリは優雅な姿にもかかわらず案外たくましい花なのです。

## ヤマユリの生育環境・自生地再生活動

生育環境は、半日陰の傾斜地(木漏れ日の当たる場所)で水はけが良く風通しの良い所を好みます。神奈川県内には丘陵地の雑木林などの適地が多く、かつて里山の多かった頃は県内の多くの地域に多数自生していたため、神奈川県の花になっています。近年、宅地開発などで里山が少なくなるにつれてヤマユリの生育適地も減少し、自生するヤマユリが激減しました。神奈川県内でもヤマユリ自生地再生活動が行われており、「かなユリ・チャレンジ」は元より、自生していたのが名前の由来とされる“百合ヶ丘”のある、川崎市麻生区でも再生活動に取り組んでいます。ただ、ヤマユリの栽培は、ウイルス病に弱い、タネまきから開花するまで4~5年かかるなど、非常に難しいということ。ヤマユリの栽培方法は、小俣虎雄さんが執筆された「新特産シリーズ ヤマユリ」(農文協)に詳しく解説されています。

(後編につづく)



ヤマユリ帯化現象(こども植物園)

# 『かなユリ・チャレンジ』 活動報告会 2019 10/1

## 植付体験付

ヤマユリの自生地再生事業を2017年11月から開始し、その取り組み状況について、ヤマユリの生態や園芸の歴史などの講義も加えて、活動報告会を行いました。会場はヤマユリの栽培、育成を連携する進和学園の「しんわルネッサンス」です。講演は「美しい日本のユリ」と題して、NPO法人全国森林インストラクター神奈川会の広川一久氏が行いました。ユリの生態から園芸史、文化史など多岐にわたる内容でした。

午後からは、球根の掘り起こしやタネ蒔き体験などを行い参加者の交流を深めました。



ワークショップでお庭へ

開花後の球根を掘り起こし



花も美しいですが球根も黄金色

2019年度  
2019.10/1-  
2020.3/31

## かながわトラストみどり財団 主催イベント

※申し込みが定員を超えた場合は抽選となります。  
※写真はすべてイメージです

🚌…バス乗車※1 🚶…徒歩※2 ⬆️…高低差

※1 コース内のバス代は各自負担となります ※2 足跡の数が増えるとコース難易度が上がります

### 自然観察会

🚶 約3.5km ⬆️ 約24m

2020年

2月15日(土)  
10:00~15:00

会員 無料  
一般 1,000円  
学生(小~大) 500円  
※別途入館料500円

古地図を持って  
大磯を巡る

【講師】  
NPO法人大磯ガイド協会  
【集合】  
JR大磯駅改札前  
10:00



30人 受付 12/1~12/31

【コース】大磯駅バス～🚌～城山公園前～旧吉田邸入館～郷土資料館～城山公園展望台(昼食)～大磯町郷土資料館～太平洋自転車道路～こゆるぎ緑地～明治記念大磯邸園～澤田美紀記念館～大磯駅

●大磯ガイド協会にガイドを務めて頂き、古地図を片手に大磯の名所や史跡、トラスト緑地の大磯こゆるぎ緑地などを巡ります。

### 申込方法 財団主催イベント

【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団 みどり企画課  
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20

☎ 045-412-2300 ✉ midori@ktm.or.jp 🌐 www.ktm.or.jp

【申込方法】イベント内容をご確認の上、●参加を希望するイベント名 ●参加希望者全員の氏名・住所・電話番号 ●会員の方は会員番号を明記して、FAX・Eメール・ハガキ・財団WEBサイトにてお申し込みください。【雨天の場合】原則として小雨天決行です。集合場所にて講師がコース変更等を判断します。【お願い】集合時間になりましたら出発します。遅れないようご注意ください。コース内のバス代は各自負担となります。

※定員を超える申し込みがあった場合は抽選となります。

## 森林ボランティア

神奈川森林インストラクターが指導します

現地に駐車場はありません。ただし、車マーク「🚗」のあるイベントのみ、車でお越しいただけます。「🌲」マークのあるイベントは、昼食後に温泉入浴ができます。

### 多摩美 川崎市 多摩区 多摩特別緑地

2020年

1月18日(土) 除伐 先着 100人 受付 11/1~

予備日: なし

【集合】小田急線 読売ランド前駅北口 8:30

※自家用車駐車場はありません

【共催】(公財)川崎市公園緑地協会

【行程】読売ランド前駅北口(徒歩で移動)⇒

現地⇒読売ランド前駅北口



### 西小磯 大磯町

2020年

2月1日(土) 竹林整備

予備日: 2/2(日)

先着 100人 受付 12/1~

【集合】JR東海道線

大磯駅南口 8:30

【共催】大磯町 ※自家用車駐車場はありません

【行程】大磯駅南口(専用バスで移動)⇒現地

⇒大磯駅南口



### 申込方法 県民参加の森林づくり

【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団 みどり森林課  
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20

☎ 045-412-2255 ☎ 045-412-2300

✉ midori@ktm.or.jp 🌐 www.ktm.or.jp

【申込方法】活動内容をご確認の上、●参加希望日 ●参加希望者全員の氏名(ふりがな)・住所・電話番号 ●森林づくり登録番号をお持ちの方は登録番号を明記して、ハガキ・電話・FAX・Eメール・財団WEBサイトにてお申し込みください。【荒天の場合】予備日のある場合は延期、ない場合は中止となります。

【実施の可否の確認方法】実施日前日の18時以降に、電話(045-412-2255)でご確認ください。録音テープでご案内します。

### 新たな優待施設が加まりました！2019年12月より開始

トラスト会員の皆さまは、**会員証のご提示**で優待を受けることができます。



野菜のHikarie

【営業時間】金曜・土曜 神奈川県三浦市南下浦町上宮田3278  
【営業時間】11時～16時 ☎046-884-8338

三浦海岸駅から徒歩3分、三浦の新鮮野菜やオリジナルスムージーがお求めになります。



会員証のご提示で **食事または飲物が50円引き!**

かながわのナショナル・トラスト運動をみんなでサポート!

## トラスト会員の皆さま!一緒に活動をしませんか?

会員にご登録済の方で、ボランティアにご協力いただける「サポーター会員」を募集中です。  
一緒に運動を盛り上げましょう!

- サポート活動の種類
- 財団本部での機関誌ミドリや会員通知等発送作業
  - 各イベントでの受付協力や写真等記録
  - 街頭募金活動での声掛けや運営



現在の登録人数 **72名**

活動一例

2019.8/4(日)

### どんぐりクラフト・イベント @京急百貨店『京急エコウィーク』

県内でとれた枝木や木の实を使ったクラフトワークショップを開催。三浦半島小網代の森のパネルも展示しました。サポーターの溝口さんはクラフト資材を参加者に提供するなどワークショップに参加。枝木やどんぐりを接着するグルーガンの担当として、子供たちの依頼に応じて接着するなど作品づくりのお手伝いでした。



活動一例

2017.9/23(土)・24(日) 10:00～17:00

### 緑の募金ブース出展活動 @藤沢市民まつり



藤沢駅コンコースで緑の募金活動として募金ブースを出展しました。サポーターの大原さんは募金の呼びかけやPRなどの対応、財団資料の配布をお手伝いいただきました。

【参加条件】財団のトラスト会員に登録している、20歳以上の方 【参加方法】「かながわトラストみどり財団サポーター制度」にお申し込みください。登録後、メールや電話などで財団事務局よりサポートの依頼の連絡が入り、エントリーいただく仕組みです。サポートいただいた方には、保険加入及び交通費が支給されます。\*詳しくは財団事務局まで

## 所得税・住民税の優遇措置について

(公財)かながわトラストみどり財団への会費や寄附は確定申告をすることによって、所得税、住民税の還付を受けることができます。ただし、県民税や市町村民税の控除は各自治体によって異なります。なお、控除額の計算はいずれかを選択することができます。

### ①税額控除(所得税)

#### ① 所得税の減少分

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 40%

#### ② 住民税の減少分

県民税(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 2%

#### (②の例)：横浜市税

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 8%

### ②所得控除

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円)の金額を、その年分の所得から控除するもの。

**相続税の非課税** 相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10か月)までに寄付された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

## 財団事業にご支援をお願いします



### 県民参加の森林づくり事業

ボランティア参加による森林づくり活動や小中高校生の森林体験学習を行うほか、森林インストラクターの養成及び派遣の支援など、県民の森林への理解や森林づくりの参加を促進する事業。

財団は県内各地において、かながわのナショナル・トラスト運動及び県土緑化運動を行い、自然環境、歴史的環境の保全と緑化の推進を図っています。みどり豊かな神奈川にすることを目的に、これからも活動に取り組むため、財団の事業へご支援をお願いします。



小網代の森の観察会

### 普及啓発事業

かながわのナショナル・トラスト運動及び県土緑化運動を多くの皆さまに知っていただき、活動に協力していただくための事業。

### 緑地保全事業

緑地所有者との保存契約を行いトラスト緑地の維持管理活動等を行うほか、小網代の森などトラスト緑地の保全を支援する事業を実施。



箱根小塚山緑地の自然再生活動

### 地域緑化活動事業

地域の市民団体を支援するほか、地域に根差した活動を行うため地区推進協議会を設置。



みどりの実践団体研修会

### 緑の募金事業

県内で緑の募金運動を展開し、その募金は学校や公共的な場所の緑化、丹沢への植樹等に活用される。

### 同封の振込用紙の取扱いについて

- ① 本用紙は「キャンペーン用振込用紙」です。会員会費や緑のグッズ募金の振込には使用しないでください。
- ② 振込の内訳に記載がない場合は、財団事業への寄附とさせていただきます。
- ③ 領収書等礼状の不要、ミドリ等の掲載不要(匿名希望)の方は通信欄にをお願いします。

(公財)かながわトラストみどり財団への寄附金は、所得税・法人税の控除が受けられます

## 電話相談初回無料!

事務所では、弁護士事務所・司法書士事務所を提携しており、相談窓口を一本化することで、お客様の費用・労力の軽減を図ることができ、相続による諸問題を総合的にサポートすることができます。

相続税申告  
**シンプルプラン**  
相続税申告のみ  
**39万円～**

相続税申告+不動産の相続登記  
**おまとめプラン**  
相続税申告と登記のセット  
**45万円～**  
(内訳: 税務申告39万円、移転登記6万円)

税理士法人タカノ ☎045-212-0375

横浜市中区本町4-41 D'グラフォート 横浜501 受付時間 平日9:30~17:30  
http://www.it-kaikai.net/



広告 当財団の法人会員で寄付などのご支援をいただいております。

## デザインから、発送まで ワンストップでのご提供



目的に合わせてデザインから配送方法まで、  
最適な形をご提案。  
企画から発送までの一貫体制で、  
手間とコストを削減します。

**ディーエムソリューションズ株式会社**  
DM SOLUTIONS

〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-9-30 横浜西口加藤ビル3F

Tel:045-624-8758 / Fax:045-624-8759

Mail:info-ykkm@dm-s.co.jp



広告 当財団の法人会員で寄付などのご支援をいただいております。

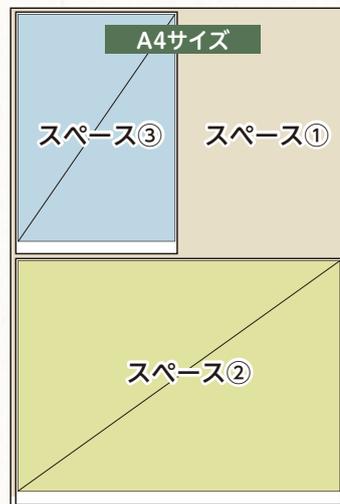
## 財団事業をご支援いただいている法人・団体様を紹介いたします!

法人団体会員など財団事業をご支援いただいている企業・団体様の広告を募集しています。日頃の社会活動をPRする機会としてご利用ください。掲載料は機関紙「ミドリ」の制作費の一部として使用します。

### 規格及び負担額(掲載料)

| 規格    | サイズ(幅×高さ)            | 掲載料     |
|-------|----------------------|---------|
| スペース① | 全面広告<br>(180W×270H)  | 80,000円 |
| スペース② | 1/2広告<br>(180W×130H) | 40,000円 |
| スペース③ | 1/4広告<br>(88W×128H)  | 20,000円 |

年間契約の場合の掲載料は、3号分となります(無料で4号に掲載)



## 遺贈による寄付について

近年、遺言による寄付について関心が高まっており、これまでに遺贈を受けた新たな公益事業を行っております。遺言の財産受取人として、当財団をご指定いただけます。

### 相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなられてから10ヶ月)までに当財団へ寄附された場合、その寄附額の相続税が非課税となります。

### 寄付の事例

「遺言」 「県内の緑化活動に役立てて欲しい(緑の募金事業への指定寄付)」

用途▶森林や緑地の維持管理における竹林整備のため竹粉砕機を導入、貸出事業を行っています。竹を割ってそのまま数ミリ程度に粉碎でき、マルチ材や堆肥などに活用できます。



竹粉砕機

「遺言」 「トラスト緑地の保全のために(緑地保全事業への指定寄付)」

用途▶小網代の森等の自然再生活動や環境学習などに活用しています。

